

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2017年5月）議事録

日時：2017年5月19日（金）午後5時30分～7時00分

場所：八重洲倶楽部 第2・3会議室

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登、西平賀昭、永富良一、碓井外幸、大野 誠、小野寺昇、勝村俊仁、川原 貴、後藤勝正、坂本静男、下光輝一、須田和裕、竹森 重、武政 徹、成田和穂、浜岡隆文、山内秀樹（各理事）、

井上 茂、小林康孝、定本朋子（各監事）、

山次俊介（第73回大会長代理・福井）、

前田清司（第74回大会長代理・茨城）

欠席者：坂本静男、内藤久士、甲斐裕子、栗原 敏、田中喜代次、田畑 泉、西牟田守、能勢 博、宮地元彦（各理事）、清田 寛（監事）、三浦祐正（第72回大会長・愛媛）

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

前回の理事会議事録を理事会開催中に内容確認を行い、訂正等がある場合には申し出て頂くこととし、理事会終了後に承認することにした。

2. 平成29年度決算見込みについて（勝村財務委員長）

資料に基づき、平成29年度決算見込みについて報告があり、正式な決算は8月の理事会で報告予定である、と説明された。

3. 平成30年度予算案について（勝村財務委員長）

資料に基づき、平成30年度予算案について報告があった。赤字体質の財政が改善出来ていないため、7月中に関係役員で費用削減について検討し、次回8月理事会にて再検討した予算案を提案する旨、説明され、継続審議となった。

4. 平成30年度事業計画について（武政総務委員長）

資料に基づき、平成30年度事業計画案について報告があった。審議の結果、承認され、9月の社員総会に諮ることとした。

5. 学会賞について（浜岡学会賞選考委員長）

資料に基づき、審査結果が報告された。5月8日に開催された委員会において、学会賞（体力科学）は同等の高評価を得た2件、学会賞（JPFMSM）1件および奨励賞1件を選考したことが報告され、承認された。

【学会賞（体力科学）】

◎「酪酸摂取がラット骨格筋における糖輸送体 GLUT-4 タンパク質の発現量に及ぼす影響」（65巻1号）

野中雄大、東田一彦、木村典代、寺田 新

◎「地域在住高齢者における縦断的調査への不参加および途中脱落に関連する心身機能と背景因子の探索」（65巻3号）

長野真弓、森山善彦、畑山知子、野藤 悠、西内久人、熊谷秋三

【学会賞（JPFMSM）】

◎「Sex-differences in age-related grip strength decline: A 10-year longitudinal study of community-living middle-aged and older Japanese」（5巻1号）
Rumi Kozakai, Fujiko Ando, Heung Youl Kim, Atsumu Yuki, Rei Otsuka and Hiroshi Shimokata

【奨励賞】

◎「4週間のn-3系多価不飽和脂肪酸摂取が運動時の脂質代謝に及ぼす影響」（体力科学65巻2号）

石橋 彩、佐々木裕人、松宮さおり、池戸 葵、海崎 彩、浜岡隆文、後藤一成、海老久美子

6. ACSM運動処方指針第10版の翻訳について

（後藤編集副委員長）

編集委員会から、第10版の翻訳を見送った方がいいのではないかと、との意見が出された。その理由として、現在学術刊行物小委員会が発行を予定している出版物の内容と重なっており、翻訳を中止して学術刊行物小委員会が発行する出版物に変えていく方がいいのではないかとということが挙げられた。これに対して、鈴木理事長と碓井常務理事より、“ACSM運動処方指針”の翻訳は今まで続けてきた体力医学会の事業の1つであり、他の学協会等関係者からの評価も高く、第9版を刊行しなかったため、最新版の翻訳を望んでいる方々が多い点、および体力医学会の収入財源の一つとなっている点などが挙げられ、“第10版 ACSM運動処方指針”の翻訳事業は継続すべきである旨の意見が出された。その結果、学術刊行物小委員会が発行する出版物とは別に考え、“ACSM運動処方指針”の翻訳を行うことが承認された。

7. 学術刊行物執筆者の選定および進捗状況について

（永富学術刊行物小委員長）

資料に基づき、「メディカルフィットネス—臨床医向けのエクササイズガイド—（仮題）」のPART1の構成案とセクションエディターの先生方について報告された。2018年5月の脱稿を目標にPART1の作成を行っており、評判如何により、PART2の作成も視野に入れていることが報告された。

8. 編集委員会規程の改定について（後藤編集副委員長）

資料に基づき、編集委員会規定の改定について報告された。改訂された内容は以下の通りである。

第4条 原稿の投稿

(3) 『JPFMSM』に投稿された Regular Articles, Short Communications, Case Report, Study Protocol, Reviews, Short Reviews (依頼も含む) は、J-STAGE オンライン投稿審査システムを用いる。

(7) 原稿投稿から掲載に到るまでの過程

5) 担当編集委員は適切な査読者2名を選出・依頼し、原則2週間以内に査読結果報告を受ける。

下線：新たに追加した文言

9. その他（鈴木理事長）

- (1) 資料に基づき、第21回東海地方会の市民公開講座の内容について報告された。
- (2) 日本医学会平成29年度役員候補者（会長候補1名、副会長候補1名、理事候補1名、監事候補1名）について、投票を行った旨が報告された。
投票した役員は以下の通りである。
会長候補：楽木宏美先生（日本老年医学会）
副会長候補：渡邊裕司先生（日本臨床薬理学会）
理事候補：後藤正道先生（日本ハンセン病学会）
幹事候補：門脇孝先生（日本糖尿病学会）
- (3) 日本肥満学会から平成30年度診療報酬改定提案について依頼があり、持ち回り審議の結果「諾」と回答した旨が報告された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

- 1) 総務委員会（武政委員長）
前回の理事会で改正した名誉会員推薦内規に基づいて、名誉会員の選出を行った事が報告された。
- 2) 編集委員会（後藤副委員長）
資料に基づき、以下の報告がなされた。
 - (1) 第8回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・第8回シンポジウムに参加した。
「一般社団法人学術著作権協会」における著作物複製利用に係る権利委託と複製利用許諾の契約について、会議に参加した学会に加入要請があったことが報告された。
 - (2) J-STAGEセミナー「オープンアクセスジャーナルに求められることとは」に参加した。
オープンアクセス化に向けた対応として、学会で以下の項目について対応が必要である事も加えられた。
 - ・BOAI statementあるいはそれに準拠したオープンアクセスstatement
 - ・査読プロセス
 - ・編集委員会の名簿
 - ・Licensingや著作権情報また、Licensingや著作権情報に関しては、「再利用に関する権利」の表示になり、いわゆる「CCライセンス（creative commons licenses：基本6タイプ）」を採用し、最も寛容なCC BY（表示）から最も制限的なCC BY-NC-ND（表示、非営利、改変禁止）までの6種類から、本学会として選択表示する必要があり、編集委員会で検討していく。
 - (3) J-STAGE Editor向けワークショップ『ジャーナルの国際発信力強化に向けて～投稿数増加のための事例共有～』に参加した。
J-STAGEの概況説明に続いて、投稿数を増やすことに成功した3つの学会についての事例報告がなされ、本学会として参考になる事例を報告した。
 - ・特定かつ注目に値する特集号を年頭に組む
 - ・他誌への投稿時にJPFISMの論文引用をお願いする
 - ・査読期間（著者への査読結果報告までの期間）を短縮し、Web上で査読状況を明示する

- ・査読・編集事業についての講習会を大会で開催する（大会に依頼する）
- ・海外Editorを入れる、Language Editorを明示する（雑誌のステータスが上がる）
- ・投稿料、掲載料については著者負担の軽減という立場を取る

以上挙げられた点を基盤として、学会誌査読の改善を推進していきたい旨、報告された。

3) 学術委員会

- (1) スポーツ医学研修会について
（山内スポーツ医学研修会実行委員長）
第28回日本体力医学会スポーツ医学研修会について、進捗状況が報告された。
- (2) プロジェクト研究について（須田委員長）
プロジェクト研究の進捗状況、採択された方への研究費の支給、および来年度で全てのプロジェクト研究費支給が終了することが報告された。

4) 渉外委員会（永富委員長）

資料に基づき、以下の報告がなされた。

- (1) ECSS-JPFISM交流シンポジウムについて、進捗状況が報告された。オランダからお越しいただく先生方について、オランダ大使館から援助が出ない事になったので、渉外委員会の予算の範囲内で賄う事に変更することになったことが報告された。
- (2) 愛媛大会の国際セッションシンポジウムに於いて、渉外委員会がオランダとの共同セッションを担当する事が報告された。

5) 倫理委員会（成田委員長）

資料に基づき、『日本体力医学会倫理委員会規定 施行に関する細則』のホームページ用掲載案の説明がなされた。

倫理審査にあたり、倫理委員の先生方には、1件につき1万円の謝金を、司法書士や弁護士の資格等の法律の資格を有している先生には1件につき3万円の謝金を支払うことが承認された。

倫理審査体制は、倫理委員の方5名と非会員の方2名にて行う事を想定しており、倫理審査開始時期を7月～8月頃に向けて準備を進めている旨、報告された。

2. 理事選挙の結果及び役員選挙の進捗状況

（須田選挙管理委員長）

資料に基づき、理事選挙当選者が報告された。今後、スケジュールに基づき、理事長選挙、副理事長選挙、常務理事選挙を行うことが報告された。

3. 第72回（愛媛）大会の進捗状況

（尾形第72回大会長代理）

配布資料に基づき、大会の特別講演等準備状況について報告された。

会場：愛媛大学城北キャンパス、
松山大学文京キャンパス

会期：2017年9月16日（土）～18日（月）
テーマ：愛顔つなぐ体力医学

4. 第73回（福井）大会の進捗状況

（山次第73回大会長代理）

配布資料に基づき、大会会場の変更等準備状況について報告された。

会場：福井市フェニックスプラザ、

AOSSA 1, 5, 6, 8階, ハピリン3階

会期：2018年9月7日(金)～9日(日)

テーマ：しあわせ元気なふくいであつむぐ体力医学

～QOL維持・向上の運動効果～

5. 第74回（茨城）大会の進捗状況

（前田第74回大会長代理）

大会の準備状況等について報告された。

会場：つくば国際会議場

会期：2019年9月19日(木)～21日(土)

6. その他

浜岡学会賞選考委員長より、学会賞の中で査読者賞を新規に設定してはどうかとの提案がなされ、学会賞選考委員会の予算の範囲内で検討を行うこととなった。